

CIR 活動ページ

アメリカ出身の霧島市国際交流員、イー・ジェリーです。だんだん日が暮れる時間が早くなり、涼しくなってきました。秋になる頃ですね。霧島に来て、あっという間に3ヶ月が経とうとしています。時間が過ぎるのは早いですね。霧島にいる時間はまだ短いですが、この3ヶ月の間にはとても貴重な体験と出会いが沢山ありました。国際交流員である私たち3人が秋の爽やかな雰囲気を感じる10月にどのような活動をしたかお知らせします！

中国国際交流お菓子作り～月餅～

10月19日、中国西安出身の国際交流員、李^リ迪^{ディ}さんが中国の中秋節の伝統的なお菓子である月餅作りをし、月餅の由来と種類を紹介しました。広東系である私にとって、月餅は見知らぬ物ではありませんが、李さんのイベントに参加して、とてもいい勉強になりました。私が見慣れているのは広東式の月餅なので、李さんのイベントに参加するまで、他の種類の月餅が存在することを知りませんでした。李さんが紹介した蘇式月餅や京式月餅などの月餅の種類の数も形も広東式月餅とは全く違い、吃驚しました！中国はやっぱり広い国ですね。今回作ったのは、中国で一番人気のある広東式月餅でした。作るのが難しそうに見えた広東式月餅ですが、意外と簡単に作れ、参加者の皆さんは大変喜んでいました。李さんは月餅の作り方と種類以外に、中国のお菓子についても紹介しました。中国のお菓子は様々な地方の食文化によって、形も味も材料も変わるため、まるで異国のお菓子のようにです。美味しい月餅を作り、中国の伝統的なお菓子について学ぶことができ、本当に素晴らしいイベントでした！



鹿児島神宮隼人浜下り

10月21日は一年一度の鹿児島神宮隼人浜下りでした。隼人族の霊を慰めるために始まったと言われる伝統行事である隼人浜下りは養老4年(西暦720年)頃始まり、1300年の歴史があります。昭和9年(西暦1934年)に一度途絶え、平成11年(西暦1999年)に復活し、今年の浜下りは復活してから19回目でした。甲冑武者や巫女等の衣装を着た人々が鹿児島神宮から八幡屋敷経由で隼人港まで歩きました。私たち国際交流員3人をはじめ外国語指導助手(ALT)の2人や志学館大学の留学生7人も参加し、日本の伝統と文化を体験することができました。初めて隼人浜下りに参加した私は甲冑武者の衣装を着ました。甲冑を着て、草鞋を履いて、まるで昔の武者になったようで、素晴らしい体験でした！

同じ甲冑武者の衣装を着たALTのForrest^{フォレスト}さんからも次のとおり感想をいただきました。

「独特な日本文化を経験でき、素晴らしい時間でした。まるで昔の日本に戻ったかのような経験でした。昔の武士の服装と武器を自分の目で見て、昔の武士の戦いを想像することができました。この経験から受けた文化的なインパクトは絶対忘れません。この経験は本当に私のまだ短い人生の中の最も素晴らしい経験の一つだと思います。」

